

町のうごき

本籍数	4,807
本籍人口	15,188
世帯数	3,863 (3,850)
住民登録人口	14,173 (14,202)
内 { 男女	6,799 7,374

4月1日現在

( )内は3月1日現在

# 広報 町のうごき

No. 131

昭和49年

5月1日発行

発行・秋田県天王町役場 TEL (018878) 2211~4  
編集・企画室 印刷・一日市印刷 電話(018875) 2038



## 元気にハイ

— 湖岸保育所で初の入所式 —

「みなさんよろしく」3月11日にオープンした湖岸地区福祉センター用地の湖岸保育所の初めての入所式が4月9日に行われた。この新しい保育所に3月11日から継続して入っている子どもは53人、新しく入った子どもは50人の合わせて103人が入っている。当日は、おかあさんに付き添われた子どもたちは、日頃のワンパクぶりほどこかへ、神妙な面持ちでモダンな保育所にはいる。保母さんの紹介のあと、ひとりひとりの名前が呼ばれ、緊張しながらも元気に「ハイ」とかわいい返事。真新しい保育室にはいった子どもたちは、お祝いの紅白まんじゅうを手に、友達とおしゃべり。この子どもたちの元気な声がもうすぐ田植えが始まり、忙がしくなる田んぼにこだましている。町では、二田、湖岸の保育所と町立幼稚園の園児を幼児バス2台で送迎しています。

▲名前が呼ばれると大きな声でハイ(上)

さあ、仲良く帰りましょうね  
保母さんに連れられて幼児バスで家へ。

# 田植えは三百円アツプの 千六百円

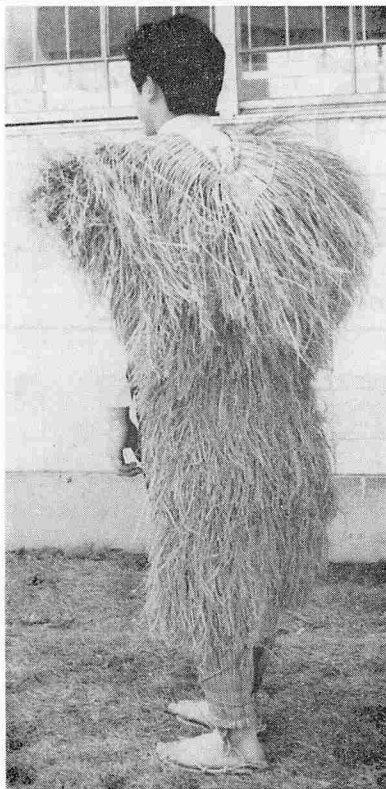
## ことしの農業労賃

ことしの農業労賃が決まり、田植えが昨年の千三百円から千六百円になった。  
これは、四月三日に開かれた農業委員会の総会で決定したもので、農繁期労働力を確保するため、前年度農業労賃実支払額農外諸賃金を考慮して決めた。

他町村からの雇用、町内、部落内からの雇用を問わず固く守って下さい。

農業労賃は次のとおり。

- ▼(一)内は昨年の労賃
- ▼田植え 千六百円(千三百円)
- ▼畑苗代 男女共千五百円(同千二百円) ▼折衷 男女共千六百円(同千三百円)
- ▼代かき 男二千二百円(千八百円) 女千六百円(千三百円)
- ▼稲刈り(手刈り) 男女共千六百円(同千三百円) バイン 千八百円(千三百円) コンバイン 10a当り 一万一千円(九千円) ハーベスター 10a当り 三千八百円(三千二百円)
- ▼田作業 男二千二百円(千八百円) 女千六百円(千三百円)
- ▼畑作業 女千五百



円(千二百円) ▼耕うん 整理田二千五百円(二千二百円) 未整理田二千六百円(二千三百円) 千拓田二千七百円(二千四百円) いずれも10a当り

## 最優秀賞に(石川)氏

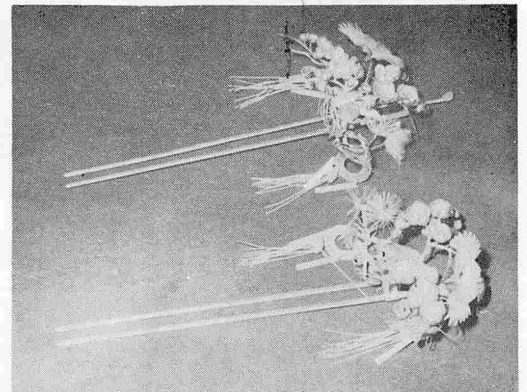
### 優良農家ほう賞制

町では地力の増強と良質米生産への農家の意欲を高めるために、昭和四十六年度から優良農家ほう賞制を設けているが、このほど昭和四十八年度の授与式が町職員会館で行われた。

このほう賞の対象農家はA層が政府売渡米二〇〇俵以上、B層が一〇〇俵から一九九俵までの農家で、上位等級米(三等米以上)の売渡歩合、粘着客土の計画的な実施、稲ワラ施肥の実施の状況などが審査基準として設けられている。この客土と稲ワラ施肥は町で奨励していることなので、今回から新たに審査基準に加えられたものである。

賞を授けられた方々はつぎのとおり。

- ▼A層農家の部
- 最優秀賞 石川喜代志(塩田)
- 優秀賞 鈴木久米雄(羽立)
- 桜庭敏蔵(塩田)
- 努力賞 菅生春司(羽立) 安田金春(羽立) 桜庭周光(塩田) 安田寅五郎(羽立) 安田雄二(羽立)



## 民具の紹介

### カンザシ

これは銀のカンザシである。江戸時代の後期にはミミカキの大きいものが流行したとも伝えられているが、このミミカキは大きい方でないようだ。銀は金やベッコウとならんで貴重なものと考えられた。秋田領内は銀の産地で銀小判なども製造されていた。銀の美しさはまたかくべつである。

## 医療費の支給 範囲広がる

乳幼児、高齢身体障害者、重度心身障害児(者)、老人医療所得制限対象者に対する医療費を支給する「天王町福祉医療費支給要綱」ができた。

これに伴い、いままでの「乳児、高齢身体障害者及び老人医療費所得制限対象者医療費支給要綱」は廃止された。

新要綱と旧要綱で変わった点は、いままで医療費が一歳未満(〇歳児)の乳幼児に限って無料であったのが、二歳未満となり、一歳拡大された。

また、新たに重度心身障害児(者)で、身体障害者手帳の等級と二級に該当する方も無料になった。これは、ことしの四月一日から適用されます。

## 転作補助の申請はいますぐ

米生産調整転作補助金は、ことしもあります。まだ申請をしていない方は、いまずぐ役場経済課で手続きをしてください。

## 四月八日に 臨時町議会

四月八日に臨時町議会が開かれ、昭和四十八年度の一般会計補正予算七千五百九十九万九千九百九十九円と追分小学校プール建設工事請負契約の二案件を原案どおり可決して同日閉会した。

専決処分をしたのは、農業用ハウスの雪害復旧対策事業費の補助金二百五十五万九千円と施設園芸共同育苗施設復旧対策事業の補助金五百万円。

また、追分小のプール建設工事請負契約は、一千四百十八万円、天王の(株)村山組が請負うことになった。

## 商業統計調査にご協力を

二年に一回行われる商業統計調査が、ことしの五月一日現在で行われます。この調査は、統計法に基づく指定統計調査であり、全国の商店をもちろなく対象とするものであって、「商業についての国勢調査」ともいえるべきものです。調査員が各商店に伺い、調査票の記入をお願いいたしますので、お忙がしいところをお手数ですが、調査票の記入提出について、よろしくご協力ください。

なお、この調査票は統計以外の目的には絶対使用されることはありません。また調査によって得た秘密を他にもらすことは法律で固く禁じられており、営業上の秘密は厳守されますから正確にご報告してくださいようお願いいたします。

**春季総合防犯運動**  
五月十日まで  
盗犯、迷惑行為、少年非行の防止に協力しましょう。

## 公民館へ 古文書などの民俗資料

### 十名の方が寄贈

住民が生活のなかで工夫し、創りあげてきた生活技術や生活文化の多くは、高度な文明のなかで失われつつあります。

そこで、町公民館では、昔の人たちがつくりあげた美しい伝統や貴重な民俗資料を収集保存し、住民の心のふるさとを求め、るための機会と場をつくりあげようとする。

- ▲佐々木さんから贈られたワラ工品、ケラ、ハバキ、ワラジ

- ▼佐々木金太郎(下出戸) 古文書
- ▼三浦兼(大崎) 古銭
- ▼渡部富男(二田) コバ打ち器
- ▼石黒太喜司(天王) 網ぞめ釜
- ▼上坂順治(天王) しゃくり飛ばし
- ▼桜庭金市(下出戸) 江戸時代のはかり
- ▼吉田新悦(大崎) 内神の神殿、棟札
- ▼石黒豊之助(江川) 農機具
- ▼天王町農協 農機具
- ▼佐々木善蔵(下出戸) わり工品

大規模工業開発

環境保全の

関連調査はじまる

気象庁では、去る三月十八日から同月二十七日までの十日間にわたり、江川児童遊園地を基地として、本町の上空を中心に秋田湾地区の気象観測を行った。

この観測は、秋田湾地区大規模工業開発のマスタープラン作成の基礎資料とするために行われたものです。

今回の調査は、ライダーによる低層の気流の移動、滞留、拡散の状況をは握するために実験観測を行ったもので、別名ライダーリーダーともいわれる新しい気象観測器械を用いて、空中の極微粒子に、レーザー光線を当て、その反射の量をブラウン管に写し出して空気の状況を調べるものです。

今回は、ヘリコプターから煙を線状に散布して、その煙粒子を観測し、低層の気象状態を調査したものです。



▲ヘリコプターに燃料を入れ、準備OK（江川児童遊園地で）

この調査のため、ヘリコプターから散布された煙は、火災訓練や海難訓練に使用する市販されているものに、だいたい色を着色して使用したもので、動植物に対する害はありません。

また、この調査は、今年度も継続して行われることになっており、六月、八月、十月及び十二月にそれぞれ予定されています。

この一連の調査結果は、昭和五十年年度末にまとまることになっています。

グリーンベルト

の効果測定も

県では、秋田湾岸の二二五

クタールの県有地を主体に、おそよ一、〇〇〇ヘクタール程度の松林の緑地が、大気汚染、悪臭騒音の緩衝にどのような効果があるか、現地における実験測定によって確かめることを目的とした調査の実施案を、このほどまとめた。

これによると、五月八日から十日までを調査のための準備期間とし、五月十一日から十五日までの五日間を実験測定の実施期間としています。

この実験測定では、音響発生器を使用した音や、地上から煙を出して緩衝の効果測定することになります。

貸与生は22人 12日に育英会の総会

今年度初の天王町育英会の総会が四月十二日、町公民館で行われ、四十八年度決算、四十九年度予算二百二十六万円などを決めた。

また、役員任期も三月いっぱい満了となり、新たに十五名の理事と三名の監事が決まった。

同会は、経済環境に恵まれないが、進学を志している方々に愛の手を差し伸べようと、四十七年に発足したもので、現在、奨学金の貸与生は、大学生九名、専門学校生四名、高校生九名の二十二名に貸し付けをしている。

【理事】  
藤原慶三郎、京谷仁太郎、佐々木良衛、児玉兼蔵、斎藤栄治、石川喜代志、目黒久治、金栄一、安田末蔵、大庭海平、村山儀孝

◎同総会で決まった役員は次のとおり。

育英会に 三十万円

【天】王町共有財産管理委員会（鎌田堅治郎委員長）では、このほど財産処分の完了を機会に将来の人材養成を心から熱望し町育英会に三十万円を寄せられた。

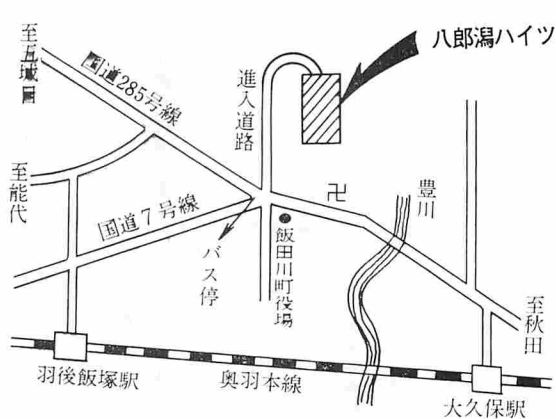
【乙】のほど、追分の成田亀雄さんは「父、死亡の際の香典返しです」と、町社会福祉協議会へ二万円を寄せられた。

育てよう心豊かに  
児童福祉週間  
五月五日〜五月十一日  
たくましく

秋田勤労総合福祉センター

八郎潟ハイツがオープン

教養、文化、研修、体育、レ



クリエーションなどで働く人々が魅力ある環境の中で、勤労の喜びや能率の向上に役立ててもらおうと、県営（雇用促進事業団の委託）で、秋田勤労総合福祉センターが八郎潟ハイツを建設、このほどオープンした。

これは、飯田川町に建設された鉄筋コンクリート造りの四階建てで、冷暖房が完備されている。

この中には、宿泊室、結婚式場、会議室などの他、レクリエーションホールもあり、バスケットボール、バレーボール、バドミントンなどができる。さらに、ブル、競技場、野球場も設けられている。

鈴木氏に 感謝状



また、相談相手となり、正しい人権の考え方を広めた功績が認められたもの。

同氏の退職により、新たに四月一日に天王の石黒兼造氏が委嘱された。

相撲連盟が 発足

本町の人権擁護委員天王の鈴木哲宗氏（写真）に、このほど法務大臣から感謝状が贈られた。

鈴木氏は四月一日で退職されましたが、皆さんの人権が侵されないように、たえず見守り、

アマチュア相撲競技の健全な普及と親睦を深めるため、このほど「天王町相撲連盟」が発足した。

同連盟の四十九年度事業計画としては、全町相撲大会の開催各大会に備えての強化練習、天王中相撲部員への指導などとなっている。

